



平成 23 年 5 月 13 日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 安藤道明
(コード番号 1491 東証・大証二部)
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
(TEL. 03-3201-1541)

通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期 (平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日) の通期業績予想値と本日公表の決算において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と実績値との差異について

(1) 連結通期業績予想値と実績値との差異

(金額の単位 百万円)

平成 23 年 3 月期通期 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	32,200	200	260	450	1円55銭
実績値 (B)	31,778	387	437	322	1円11銭
増減額 (B - A)	421	187	177	127	-
増減率 (%)	1.3	-	-	28.3	-
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	32,491	764	819	1,778	6円14銭

(2) 個別通期業績予想値と実績値との差異

(金額の単位 百万円)

平成 23 年 3 月期通期 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,300	390	430	430	1円48銭
実績値 (B)	29,990	496	523	335	1円16銭
増減額 (B - A)	309	106	93	94	-
増減率 (%)	1.0	-	-	21.9	-
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	31,700	624	666	1,791	6円18銭

2. 修正の理由

金・銀・プラチナ等の貴金属価格は上昇基調にあったことに加え、仕入れコストの削減が寄与し、業績は概ね順調に推移したものの、投資取引において運用損失を計上したことから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が、前回見込を下回ることになりました。

3. 特別損失の計上及びその内容

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」を踏まえ、減損損失が認識された遊休資産及び店舗に係る資産の帳簿価格を備忘価格まで減損した結果、特別損失として43百万円を計上しております。

以 上